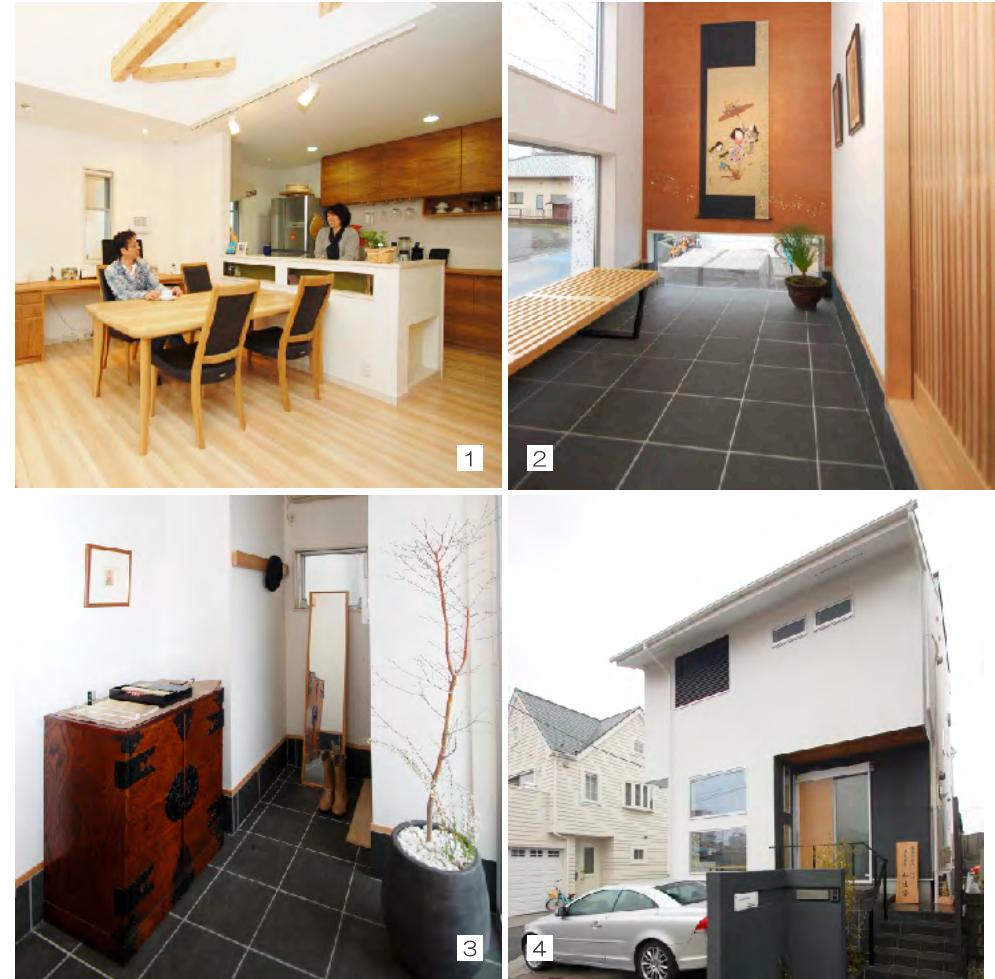




## 機能的な空間とお客様を迎えるギャラリー 表具師として日本の文化を愛し守る「和モダン」の家

美術表装や文化財の修復、家系図など日本の文化を守り伝える表具師というお仕事のK様。緻密な仕事のスペースを広く取りながらも、家族が寛ぐリビングと緩やかに融合を見せる。多くの美術品で緊張しそうだが、ご夫婦の優しいお人柄が心地よい空気を満たしている。



① 奥様が選ばれたクルミ材のキッチン収納＆リビングのデスクが明るさと落ち着きを生み出す。② エントランスでお客様を迎える「和」のギャラリー。広い窓の明るい光と、K様が柿渋で仕上げた壁面は美術品を際立たせている。③ 玄関の和箪笥の上には、漆塗りの箱に入った家系図が展示されている。奥には使いやすいシューズクローケがある。④ 外観は白い壁と黒の欅引の壁。引き戸の玄関が優しくお客様を迎える。